

参考資料

- ・ 政策目標および実施計画 2025 の施策目標の進捗状況
- ・ 実施計画 2030 策定までの経緯

参考資料

政策目標および実施計画 2025 の施策目標の進捗状況（2024 年時点）

政策目標 1

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値	
政策目標 1 子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち	「子どもを育てやすい環境」への市民の満足度	35.8% (2019)	35.8% (2025)	40.8% (2024)	
	「自分には良いところがある」と思う児童の割合（小学 6 年生）	83.0% (2020)	86.3% (2025)	84.0% (2024)	
	「自分には良いところがある」と思う生徒の割合（中学 3 年生）	77.0% (2020)	77.9% (2025)	81.0% (2024)	
施策目標 1 親と子の心身の健康が保持および増進されている	子育てでどうしてよいかわからなくなることがあると答えた保護者の割合	58.6% (2018)	減少 (2023)	58.9% (2023)	
施策目標 2 誰もが安心して子育てができる環境が整備されている	子どもを育てている現在の生活に満足していると答えた保護者の割合	就学前児童	69.0% (2018)	増加 (2023)	69.3% (2023)
		小学生	69.0% (2018)	増加 (2023)	67.4% (2023)
	理想的な子どもの人数と、持つつもりの子どもの人数が同じと答えた保護者の割合	就学前児童	50.8% (2018)	増加 (2023)	35.5% (2023)
		小学生	52.0% (2018)	増加 (2023)	44.6% (2023)
施策目標 3 児童・生徒の生きる力を育む学校教育が行われている	学校で色々なことが分かるようになることが楽しいと思う割合	小学校 6 年生	51% (2021)	増加 (2024)	43% (2024)
		中学校 3 年生	40% (2021)	増加 (2024)	42% (2024)
施策目標 4 安全・安心で健やかに生活できる教育環境が整っている	教室や体育館、運動場の施設を安心して利用できると思う割合	小学校 6 年生	62% (2021)	増加 (2024)	61% (2024)
		中学校 3 年生	54% (2021)	増加 (2024)	57% (2024)

実施計画 2025 での主な取り組み

- 産後ケア事業
- 母子健康手帳・妊産婦健康診査事業
- 児童クラブ待機児童解消対策推進事業
- 保育所等待機児童解消対策推進事業
- 小児医療費助成事業
- 家庭児童相談事業（こども家庭センター）
- 子ども食堂支援事業
- 特別支援学級設置に関する事務
- 児童・生徒指導事業（スクールソーシャルワーカー）
- 中学校給食実施事業
- 学校施設等整備事業（エアコン新設、照明 LED 化、大規模改修）

政策目標 2

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
政策目標 2 地域が活力にあふれ、交流とにぎわいのあるまち	「地域経済の活性化に向けた取り組み」に対する市民の満足度	33.2% (2019)	33.2% (2025)	37.9% (2024)
	「市内での多様な働き方や働く場の創出」に対する市民の満足度	12.1% (2019)	12.1% (2025)	16.9% (2024)
施策目標 5 さまざまな事業者に活気があり、地域経済の好循環が図られている	市内における増加事業所数（市民税課資料）	4836 社 (2021)	5200 社 (2024)	5266 社 (2024)
	「働く場が整っている」ことが本市の魅力と答えている市民の割合（市民意識調査）	3.3% (2021)	増加 (2024)	2.7% (2024)
施策目標 6 農業・畜産業・水産業が安定して営まれている	「海の幸や農産物に恵まれて食が豊か」であることが本市の魅力と答えている市民の割合（市民意識調査）	30.7% (2021)	増加 (2024)	26.3% (2024)
施策目標 7 まちの魅力が知られ、まちがにぎわっている	入込観光客数（入込観光客調査）	209 万人 (2021)	300 万人 (2024)	231 万人 (2024)
	観光客消費額（入込観光客調査）	36 億円 (2021)	47 億円 (2024)	49 億円 (2024)

実施計画 2025 での主な取り組み

- 企業移転・サテライトオフィス設置支援事業
- クラウドファンディング活用支援事業
- 農業人材力強化総合支援事業
- 農業用排水路・農業用ポンプの整備事業
- 漁港機能保全事業
- 道の駅整備・管理運営事業
- にぎわい創出支援事業
- バリアフリービーチ事業

政策目標3

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
政策目標3 共に見守り支え合い、誰もが健康に暮らすまち	「地域における支え合いの仕組みや、自分らしく暮らせる環境」への市民の満足度	22.80% (2019)	22.80% (2025)	25.60% (2024)
	「健康を守るための保健衛生や医療体制」に対する市民の満足度	24.90% (2019)	24.90% (2025)	30.70% (2024)
	「誰もが安心して暮らすためのセーフティネット」に対する市民の満足度	16.30% (2019)	16.30% (2025)	19.70% (2024)
施策目標8 福祉などの多様な生活課題に地域で取り組む体制が確保されている	困りごとの相談先のうち区内で対応している割合	28.8% (2019)	増加 (2024)	26.3% (2024)
	「困ったときに家族のほかに相談する相手がいない」市民の割合	12.8% (2019)	減少 (2024)	10.0% (2024)
施策目標9 健康の維持増進を図るための地域保健対策、医療提供体制が確保されている	元気で自立して過ごせる期間の延伸（平均寿命と健康寿命（平均自立期間）の差の縮減）	男性 1.4ポイント (2022)	男性女性 共に縮減 (2023)	男性 1.5ポイント (2024)
		女性 3.2ポイント (2022)		女性 3.0ポイント (2024)
施策目標10 社会保障制度が適正に運営されている	「生活困窮や病気、介護などに対する支援」に対する市民の満足度	18.6% (2021)	増加 (2024)	19.7% (2024)
実施計画 2025 での主な取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時における要配慮者および避難行動要支援者支援事業 ・ 成年後見制度利用促進に向けた体制整備 ・ 重層的支援体制整備事業 ・ 後期高齢者保健事業 ・ 社会保障制度（介護・国民健康保険・生活保護・医療）事業 ※継続的事務事業 				

政策目標4

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
政策目標4 誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまち	「学びの機会や文化・芸術、スポーツに触れる機会」に対する市民の満足度	28.90% (2019)	28.90% (2025)	28.90% (2024)
	「多様性を認め、お互いを尊重し合う社会の実現」に対する市民の満足度	17.50% (2019)	17.50% (2025)	20.10% (2024)
施策目標11 さまざまな学習の場を整備し、文化・芸術やスポーツに親しむ環境が整っている	「生涯を通じて学ぶことができる環境」に対する市民の満足度	23.1% (2021)	増加 (2024)	23.4% (2024)
	「スポーツを気軽に楽しむことができる環境」に対する市民の満足度	36.6% (2021)	増加 (2024)	32.9% (2024)
施策目標12 誰もが個人として尊重され、人々の交流を通じて多様性を認め合う社会が実現している	「国内外の都市や市民との交流の機会」に対する市民の満足度	14.1% (2021)	増加 (2024)	15.6% (2024)
	社会通念・慣習・しきたりにおいて男女の地位が平等になっていると思う人の割合	10.3% (2021)	16% (2024)	10.6% (2024)
実施計画 2025 での主な取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合体育館改修工事 ・ 茅ヶ崎アスリート支援事業 ・ 旧南湖院第一病舎等利活用事業 ・ クリエイターシティ・チガサキ形成戦略事業 ・ 博物館管理運営事業 ・ ホノルル市・郡との姉妹都市提携交流事業 ・ 女性のための相談事業 				

政策目標5

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
政策目標5 豊かな自然と共存し、心地よい生活環境のあるまち	「自然環境の保全や、生物多様性の維持」に対する市民の満足度	45.70% (2019)	45.70% (2025)	50.00% (2024)
	「持続可能な社会の実現に向けた環境負荷の低減」に対する市民の満足度	32.40% (2019)	32.40% (2025)	36.00% (2024)
	「心地よく暮らせる生活環境」への市民の満足度	41.40% (2019)	41.40% (2025)	46.20% (2024)
施策目標13 みどりや水辺等の自然が豊かで、人と共存している	「自然や緑、水が豊か」であることが、本市の魅力と答えている市民の割合	44.2% (2021)	増加(2024)	43.6% (2024)
	緑地の確保量	18.48% (2018)	19.05% (2024)	18.06% (2024)
施策目標14 ごみの排出量が減って、安定して処理されている	市民1人1日当たりの資源物を除くごみ排出量	632g (2021)	504g (2024)	525g (2024)
	リサイクル率	24.6% (2021)	31.9% (2024)	28.6% (2024)
施策目標15 市民や事業者の省エネルギーと気候変動対策が進んでいる	「省エネルギーなど地球温暖化対策への取り組み」を実践している割合（市民）	62% (2019)	66% (2024)	64% (2023)
	「省エネルギーなど地球温暖化対策への取り組み」を実践している割合（事業者）	62% (2019)	67% (2024)	65% (2023)
	地域の温室効果ガス排出量	130.8万t-CO2 (2017)	115.7万t-CO2 (2024)	120.2万t-CO2 (2022)
施策目標16 快適な生活環境が形成されている	生活排水処理率	97.2% (2018)	98.6% (2024)	97.7% (2024)
	景観資源の累計指定件数	29か所 (2019)	32か所 (2024)	32箇所 (2024)
実施計画 2025 での主な取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> 自然環境評価調査事業 脱炭素社会に向けた普及啓発事業 カーボンニュートラル推進事業 ごみ減量化に関する事業 焼却残渣再資源化事業 再生可能エネルギー事業 下水道施設ストックマネジメント事業（長寿命化事業） 公園愛護活動普及促進事業 美化推進事業 				

政策目標6

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
政策目標6 安全で安心して暮らせる、強くなやかなまち	「災害から生命・財産を守るための防災や減災への対策」に対する市民の満足度	28.90% (2019)	28.90% (2025)	32.00% (2024)
	「生命・財産を守るための火災や救急への対策」に対する市民の満足度	30.00% (2019)	30.00% (2025)	33.30% (2024)
	「暮らしの安全・安心の確保に向けた防犯や交通事故防止への対策」に対する市民の満足度	25.90% (2019)	25.90% (2025)	27.30% (2024)
施策目標17 地域防災力が高く、誰もが自発的に防災活動を行っている	「ハザードマップでの災害リスクの確認」を実施している割合（市民）	61% (2019)	70% (2024)	64% (2023)
	「災害に備えた食料や水の備蓄」を実施している割合（市民）	65% (2019)	73% (2024)	63% (2023)
施策目標18 災害に強い安全・安心なまちが形成されている	公共下水道雨水施設の整備面積	-	10ha (2025)	5.7ha (2024)
施策目標19 消防力・救急力が充実し、市民の生命や財産への被害を最小限に抑えられている	消防力の整備率	100% (2024)	100% (2024)	100% (2024)
	救急活動所要時間	平均31分47秒 (2021)	現状維持 (2024)	平均33分22秒 (2024)
施策目標20 市民の身近な生活の安全が確保され、不安のない生活を送れている	人身交通事故の発生件数	492件 (2021)	482件以下 (2024)	500件 (2024)
	身近で起きている犯罪件数	828件 (2021)	711件以下 (2024)	1222件 (2024)
実施計画 2025 での主な取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者対策事業 地域自主防災活動促進事業 防災啓発事業（ハザードマップの作成・周知） 公共下水道整備事業 千ノ川整備事業 都市防災推進事業（復興事前準備） 消防車両整備事業 消防緊急通信指令システム更新整備事業 災害時医療救護活動の体制強化事業 交通安全啓発事業 				

政策目標 7

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
政策目標 7 利便性が高く、魅力的な都市空間が整うまち	「機能的で秩序のある都市づくり」に対する市民の満足度	35.10% (2019)	35.10% (2025)	42.30% (2024)
	「快適で利便性の高い移動環境の形成」に対する市民の満足度	36.00% (2019)	36.00% (2025)	36.10% (2024)
施策目標 21 土地利用の秩序が保たれ、都市機能の維持がされている	「心地よく暮らせる居住環境がある」であることが、本市の魅力と答えている市民の割合	42.7% (2021)	増加 (2024)	44.6% (2024)
施策目標 22 移動しやすく、交通の円滑化が図られている	市民 1 人当たりの年間公共交通利用回数	350.0 回 (2021)	383.1 回 (2024)	402.3 回 (2024)
	「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想」における特定事業計画の進捗率	33% (2021)	43% (2024)	60% (2024)
実施計画 2025 での主な取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜見平地区拠点整備事業 ・ 茅ヶ崎駅周辺道路施設等更新事業 ・ バリアフリー基本構想の推進事業 ・ 新国道線街路整備事業 ・ 幹線市道の道路改良および歩道等の整備事業 ・ 地域公共交通計画の推進事業 				

将来都市像の実現に向けた行政経営

政策目標・施策目標	指標	現状値	目標値	実績値
将来都市像の実現に向けた行政経営	「市民主体のまちづくり」に対する市民の満足度	22.50% (2019)	22.50% (2025)	23.40% (2024)
	「行政運営の基盤の確保」に対する市民の満足度	19.50% (2019)	19.50% (2025)	25.30% (2024)
	経常収支比率	99.40% (2019)	99.40% (2025)	95.90% (2024)
施策目標 23 市民が主体的に活動するための環境整備や、企業や民間団体と連携するための基盤が確立されている	企業版ふるさと納税実績数	4 件 (2021)	10 件 (2024)	29 件(2024)
	市民活動団体等との協働事業実績数	344 件 (2021)	450 件 (2024)	558 件 (2024)
施策目標 24 時代の変化に対応する柔軟な行政運営が行われている	社会増減数	+2158 人 (2021)	自然減を上回る社会増 (2024)	+814 人 (2024)
	「申請のデジタル化などによる多様なニーズに対応した窓口サービス」に対する市民の満足度	27.4% (2021)	増加 (2024)	32.6% (2024)
施策目標 25 政策の実現を支える財政運営が維持されている	将来負担比率（地方公共団体の一般会計等が、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模（国から見た自治体の財政的な規模）を基本とした額に対する比率）	33.8% (2021)	減少 (2024)	17.2% (2024)
実施計画 2025 での主な取り組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・ （仮称）松林地区地域集会所等複合施設整備事業 ・ 多様な主体との協働の推進事業 ・ 企業版ふるさと納税活用促進事業 ・ シティプロモーション推進事業 ・ 書かない窓口の導入 ・ 公金収納等事務のデジタル化の推進 ・ まちづくり情報プラットフォーム構築によるワンストップ窓口事業 				